

平成30年度

山形県公立高等学校入学者  
選抜学力検査成績概況

平成30年6月

山形県教育委員会

## <目 次>

### 国 語

1 結果の考察	1
2 今後の学習のポイント (授業改善のポイント)	1
問題別正答率 (%)	2

### 社 会

1 結果の考察	3
2 今後の学習のポイント (授業改善のポイント)	3
問題別正答率 (%)	4

### 数 学

1 結果の考察	5
2 今後の学習のポイント (授業改善のポイント)	5
問題別正答率 (%)	6

### 理 科

1 結果の考察	7
2 今後の学習のポイント (授業改善のポイント)	7
問題別正答率 (%)	8

### 英 語

1 結果の考察	9
2 今後の学習のポイント (授業改善のポイント)	9
問題別正答率 (%)	10

### 資 料

平成30年度山形県公立高等学校入学者選抜実施状況

(入学定員・入学志願者数・合格者数等)

1 年度別比較	11
2 課程別・学科別	12
3 推薦入学者選抜実施状況	13

# 国語

## 1 結果の考察

### (1) 学習の成果がみえる問題

㊦の間六は、登場人物の設定をとらえ的確に表現する力をみる問題だが、正答率が8割を超えており、学習の成果がみえる。場面の展開や登場人物などの描写に注意しながら、理解した内容を適切に表現する学習を継続することが大切である。㊦の間四及び間七は、話し手の意図を考えながら聞いたり、相手や場に応じて的確に話したりする力をみる問題だが、どちらも正答率が高く、「話すこと・聞くこと」の力が身に付いていることがうかがわれる。普段から相手の反応を踏まえながら話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする意識をもち、目的や場面に応じた話し方や聞き方ができるようにしたい。㊦の作文は、資料から目的に応じて必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめる力をみる問題である。資料から読み取った内容を自分の知識や体験と関連付けて表現する力に課題がみえるものの、約7割の受検者が9点以上得点しており、「書くこと」についての基本的な力は身に付いていることがうかがわれる。目的に応じて情報を選択・整理した上で、文章の構成を工夫しながら自分の考えを表現することを心掛けたい。

### (2) 課題がみえる問題

㊦の間五は、文章における表現の特徴の効果をとらえる力をみる問題だが、正答率は低く課題がみえる。文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを根拠を明確にしてまとめる学習に取り組むたい。㊦の間五は、表現の技法について理解し文章に即して表現する力をみる問題だが、正答率が3割程度と低く課題がみえる。比喻などの表現の技法について、基本的な意味や用法をとらえた上で、文章における具体的な表現に即して理解できるようにしたい。㊦の間六は、文章に書かれた内容を正確に理解したり要旨を的確に表現したりする力をみる問題だが、Iの正答率は7割を超えたものの、IIの正答率は低かった。文章の論理の展開をとらえ、書き手のものの見方や考え方を理解できるようにしたい。

## 2 今後の学習のポイント（授業改善のポイント）

### (1) 国語を適切に表現し、正確に理解することができる

基礎的・基本的な技能の向上を図りながら、伝える内容を適切に表現することや他者が伝えたい内容を正確に理解することができる。

### (2) 主体的に読書に取り組むことができる

読書を通して知識を広げたり自分の考えを深めたりすることができるよう、図書館を活用するなどして、主体的に読書に取り組むことができる。

### (3) 授業者は「付けたい力」の定着を図る授業計画と評価の工夫を

授業者は、単元の重点を明確にした年間指導計画を作成するとともに、生徒の主体性を引き出し、言葉による見方・考え方の質を高める学習課題の設定と言語活動の充実を図りたい。その上で、各単元において「付けたい力」が定着したかどうかを具体的な評価方法に基づいて適切に評価し、指導の改善につなげたい。

問	正 答	配 点	備 考														
一	<p>七 一 a けはい 99.4 b かせ 100.0</p> <p>二 エ 90.7</p> <p>三 I 代役 99.4 II どんな本を読めばいいのか 86.5</p> <p>四 (例) 話を聞いて納得した点を、自分の感想を交えて相手に伝えていること。 73.3</p> <p>五 ア 57.9</p> <p>六 (例) 不安や緊張を感じながらも、負けずにやり遂げようとする、意志の強い人物。</p> <p>七 (選択問題)</p> <p>A (例) 一年生が話の世界を想像しやすいよう、気持ちをこめて読んでいる。</p> <p>B (例) 一年生が安心して話を楽しめるよう、にやかに読んでいる。</p>	27	<p>問四 例以外にも多様な表現ができるので、積極的に評価すること。</p> <p>問六 例以外にも多様な表現ができるので、積極的に評価すること。</p> <p>問七 例以外にも多様な表現ができるので、積極的に評価すること。</p>														
	<table border="1"> <tr><td>完 解</td><td>15.8</td></tr> <tr><td>50~99%</td><td>43.4</td></tr> <tr><td>1~49%</td><td>27.0</td></tr> </table>	完 解	15.8	50~99%	43.4	1~49%	27.0	<table border="1"> <tr><td>A選択</td><td>65.3</td></tr> <tr><td>B選択</td><td>32.8</td></tr> <tr><td>無答</td><td>1.9</td></tr> <tr><td>A</td><td>92.6</td></tr> <tr><td>B</td><td>84.3</td></tr> </table>	A選択	65.3	B選択	32.8	無答	1.9	A	92.6	B
完 解	15.8																
50~99%	43.4																
1~49%	27.0																
A選択	65.3																
B選択	32.8																
無答	1.9																
A	92.6																
B	84.3																
二	<p>七 一 a がっぺい 94.2 b いた(こと) 97.7</p> <p>二 ウ 73.3</p> <p>三 イ 67.5</p> <p>四 I 視覚 65.3 II (例) 鳴き声 58.8</p> <p>五 (1) (例) 何の俳句なのかということ。 31.8</p> <p>六 (2) (例) どの季語の持つ味わいに注目して楽しめばいいのかということ。 36.3</p> <p>七 I (例) 春にしか咲かない 74.9 II (例) 「花」に重きを置いている 37.3</p> <p>(例) 初心者がよく理解せず季語を詰め込んでしまうと、伝えたいことの焦点がぼやけてしまうので、基礎が身についてから作るべきだと考えている。</p>	27	<p>問五 (1)、(2) 例以外にも多様な表現ができるので、積極的に評価すること。</p> <p>問七 例以外にも多様な表現ができるので、積極的に評価すること。</p>														
	<table border="1"> <tr><td>完 解</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>50~99%</td><td>40.8</td></tr> <tr><td>1~49%</td><td>15.4</td></tr> </table>	完 解	14.5	50~99%	40.8	1~49%	15.4										
完 解	14.5																
50~99%	40.8																
1~49%	15.4																
三	<p>五 一 やしなわれん 69.5</p> <p>二 イ 56.9</p> <p>(例) 仕事を、自分自身のためにすること。 83.6</p> <p>(例) よい商品を選び、少しでも安い値段で 92.3</p> <p>三 エ 70.4</p>	15															
四	<p>二 一 1 源 89.4 2 委(ねる) 34.7 3 保 存 94.9</p> <p>四 ア 57.2 機 51.8 5 運 賃 83.9</p>	13															
五	<p>【評価の観点】</p> <p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グラフを見て気づいたことが、明確に述べられているか。</li> <li>○ 今後の学校生活で大切にしたいことが、自身の体験や見聞きしたことを含めて明確に述べられているか。</li> </ul> <p>(2) 構想・叙述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一段落で構成されており、第一段落には、グラフを見て気づいたことが述べられ、第二段落には、第一段落を踏まえ、今後の学校生活で大切にしたいことが、自身の体験や見聞きしたことを含めて明確に述べられているか。</li> <li>○ 文章の組み立てや展開が適切で、全体のまとまりがあるか。</li> <li>○ 叙述の仕方が的確で、工夫がみられるか。</li> </ul> <p>(3) 書写・表記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字が正しく、整っており、表記が適切であるか。</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 採点基準は、【評価の観点】を踏まえ、各学校において適切に設定すること。</li> <li>◇ 採点はる名以上で行い、それぞれ18点満点とすること。</li> <li>◇ 採点者は全答案を通して採点し、評価、評点のゆれがないよう留意すること。</li> <li>◇ 評点は、各採点者による点数を平均(端数切り上げ)したものとすること。</li> </ul>														
	<table border="1"> <tr><td>14点~18点</td><td>17.7</td></tr> <tr><td>9点~13点</td><td>55.3</td></tr> <tr><td>5点~8点</td><td>22.8</td></tr> <tr><td>1点~4点</td><td>3.5</td></tr> </table>	14点~18点	17.7	9点~13点	55.3	5点~8点	22.8	1点~4点	3.5	合計 100							
14点~18点	17.7																
9点~13点	55.3																
5点~8点	22.8																
1点~4点	3.5																

(注意) 1 各小問の配点については、各学校で適正な基準を設けること。  
 2 この採点基準によって処理しがたい細部については、各学校の判断によるものとする。

# 社 会

## 1 結果の考察

### (1) 学習の成果がみえる問題

①の問1は、世界地図を活用し、世界の地域構成を大観する力をみる問題だが、正答率が9割を超えており、学習の成果がみえる。世界の国々の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成をとらえる学習が十分に行われていることがうかがわれる。②の問4は、人々の生活を自然環境と関連付けて考察する力をみる問題だが、正答率が9割を超えており、学習の成果がみえる。授業において、地域の特色ある事象を他の事象と関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえる学習が十分に行われていることがうかがわれる。⑥の問2(3)は、現代の社会的事象について理解していることを表現する力をみる問題だが、正答率が高く、学習の成果がみえる。現代の社会的事象に対する関心をもち、様々な資料を適切に収集、選択して考察し、事実を正確にとらえる学習が十分に行われていることがうかがわれる。

### (2) 課題がみえる問題

③の問3(1)は、歴史上の人物についての基礎的な知識を問う問題だが、正答率が低く課題がみえる。歴史上の人物が果たした役割や歴史上の人物の生き方について時代的背景と関連付けて考察し、学習内容の理解と定着を図ることが大切である。③の問2(2)、問4(2)は、歴史的事象の背景や因果関係を説明する力をみる問題だが、正答率が低く課題がみえる。歴史的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明する学習を大切にし、思考力、判断力、表現力を養いたい。⑤の問2(3)は、地方自治における住民の権利について思考・判断し表現する力をみる問題だが、正答率が低く課題がみえる。地方自治と民主政治について理解するとともに、社会参画を意識した学習を心掛けたい。

## 2 今後の学習のポイント（授業改善のポイント）

### (1) 基礎的な知識を活用して、社会的事象について説明したり議論したりすることができる

身に付けた基礎的な知識を活用して、社会的事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり議論したりすることができる。

### (2) 課題を見だし多面的・多角的に考察する学習に主体的に取り組むことができる

身近な社会的事象について、資料を選択し活用する学習活動や観察や調査などの体験的な活動を行い課題を見いだすなど、主体的に学習に取り組むことができる。また、持続可能な社会を形成するという観点から、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

### (3) 授業者は、協働的な学びの場と学習の成果を振り返る場の充実を

授業者は、生徒が解決に向けて予想を立てたり解決のための方法を見いだしたりする場の設定や、思考・判断したことを、根拠をもとに自分の言葉で表現する場の設定など、協働的な学びや振り返りを充実させたい。

問	正 答	配 点	備 考																		
1	問1 オセアニア (州), 北アメリカ (州)	94.9	問1 順序は問わない。  選択率 ①12.5 ②87.1 無答率 0.3  問6 受検者の多様な考えや表現を積極的に評価すること。																		
	問2 ③	68.2																			
	問3 イ	90.7																			
	問4 (1) オリーブ (2) ガーナ	94.5 64.6																			
	問5 ア	57.2																			
	問6 《選択問題》 ④ (例) 経済が発展するから。 ① 64.1 ⑤ (例) 自然が破壊されるから。 ② 92.3																				
2	問1 ウ	60.5	問5 (3)  外国人の宿泊者数 (万人) 【グラフ】 <table border="1"><caption>外国人の宿泊者数 (万人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>冬季</th><th>夏季</th></tr></thead><tbody><tr><td>2012</td><td>100</td><td>50</td></tr><tr><td>2013</td><td>150</td><td>100</td></tr><tr><td>2014</td><td>200</td><td>150</td></tr><tr><td>2015</td><td>250</td><td>180</td></tr><tr><td>2016</td><td>300</td><td>180</td></tr></tbody></table>	年度	冬季	夏季	2012	100	50	2013	150	100	2014	200	150	2015	250	180	2016	300	180
	年度	冬季		夏季																	
	2012	100		50																	
	2013	150		100																	
	2014	200		150																	
2015	250	180																			
2016	300	180																			
問2 (例) 歴史的景観	76.2																				
問3 イ	86.5																				
問4 (例) 台風に備えるため。	95.5																				
問5 (1) d (2) カルデラ (3) (備考欄に示す。) (4) (例) 夏季に比べ冬季の方がより多く増加している。	78.1 82.6 86.5 79.7																				
3	問1 高床倉庫	82.3																			
	問2 (1) 正倉院 (2) (例) 口分田が不足したから。	61.1 47.9																			
	問3 (1) 一遍 (2) ウ	17.7 41.2																			
	問4 (1) エ (2) (例) 貨幣を使う機会が増えたこと。	85.9 22.5																			
4	問1 福沢諭吉	63.3	問6 受検者の多様な考えや表現を積極的に評価すること。 問7 全部できて正答とする。																		
	問2 (例) 中央集権国家を確立するため。	30.2																			
	問3 民本主義	52.7																			
	問4 (例) 公共事業をおこした。	62.7																			
	問5 ア	56.9																			
	問6 (例) ラジオは情報を送り手が受け手に伝えるだけだが、インターネットは双方向で情報をやり取りできる。	48.2																			
	問7 ア → ウ → イ → エ	25.4																			
5	問1 ウ, エ	95.2	問1 順序は問わない。  問2 (3) 受検者の多様な考えや表現を積極的に評価すること。																		
	問2 (1) 秘密選挙 (2) (例) 最高裁判所の裁判官として適任かどうかということ。 (3) (例) 直接自分たちの意思を表すこと。	90.0 45.3 19.9																			
	問3 (1) プライバシーの権利 (2) 日照権	85.9 66.9																			
6	問1 (1) ニューヨーク (2) 安全保障理事会 (3) エ	67.5 63.3 65.3																			
	問2 (1) フェアトレード (2) NGO (3) (例) 仕事と家庭生活を両立すること。	68.2 65.6 80.7																			
	合計	100																			

〔注意〕 1 各小問の配点については、各学校で適正な基準を設けること。  
2 この採点基準によって処理しがたい細部については、各学校の判断によるものとする。

# 数 学

## 1 結果の考察

### (1) 学習の成果がみえる問題

①の2は、式を変形して値を求める力をみる問題だが、正答率が高く学習の成果がみえる。多項式について、因数分解ができるとともに、目的に応じて式を変形できるようにしたい。①の4は、ヒストグラムや代表値の意味を理解し資料の傾向を適切に判断する力をみる問題だが、正答率が高く学習の成果がみえる。収集した資料を表やグラフに整理するだけでなく、資料の散らばりや代表値に着目して傾向を読み取ることが大切である。②の3(2)は、確率を用いて不確定な事象をとらえ説明する力をみる問題だが、受検者の64.6%が5割以上得点しており、学習の成果がみえる。授業において、様々な数学的活動に積極的に取り組むことが大切である。

### (2) 課題がみえる問題

②の1(2)は、図形と反比例の関係をとらえ、面積を求める力をみる問題だが、正答率が低く課題がみえる。反比例の意味やグラフの特徴について理解を深められるような学習を心掛けたい。②の2(1)は、方程式を活用する力をみる問題だが、正答率が低く課題がみえる。身近な事象の中に数量の関係を見いだし文字を用いて式に表現したり、式の意味を読み取ったりする力を身に付けたい。③の2、④の2は、具体的な事象と図形の性質を関連付けて考察する力をみる問題だが、正答率が低く課題がみえる。図形について見通しをもって考え、見いだした図形の性質を具体的な場面で活用する力を身に付けたい。④の1は、三角形の相似条件などを用いて、論理的に証明する力をみる問題だが、5割以上得点した受検者は全体の33.8%であり、課題がみえる。結論に至るまでの過程を、筋道立てて論理的に記述する力を身に付けたい。

## 2 今後の学習のポイント（授業改善のポイント）

### (1) 学習したことを活用するために、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けることができる

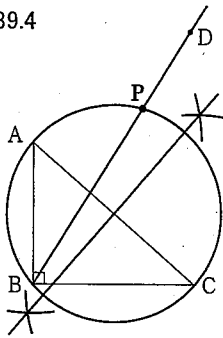
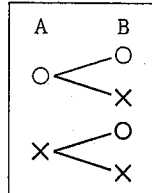
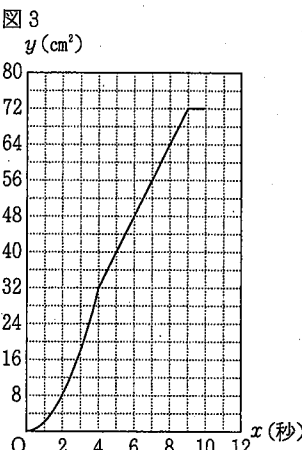
授業での数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容について実感を伴って理解した上で、課題解決に向けて結果を予想したり解決のための方法を見いだしたりすることができる。

### (2) 授業以外の日常生活の様々な場面で、学習したことを活用することができる

授業の中だけでなく、授業以外の日常生活の様々な場面でも、学習したことを積極的に活用して考えたり判断したりすることができる。

### (3) 授業者は、次の学びにつながるまとめと振り返りの機会を設け、主体的に学習に取り組む態度の育成につながる授業の充実を

既習の数学をもとに、数学を活用して考えたり判断したりする数学的活動において、生徒が自分の学びの変容を自覚したり、新たな課題を見いだしたりする振り返りの機会を設けることで、数学を学ぶことへの意欲を一層高めるような授業を充実させたい。

問	正 答	配 点	備 考							
1	1 (1) 8 96.8 (2) $-\frac{1}{7}$ 86.8 (3) $-2ab$ 81.7 (4) $3\sqrt{6}$ 89.4 2 (求め方は略。) 220 87.5 3 (解き方は略。) $x = -2 \pm \sqrt{10}$ 76.5 4 ウ 71.1 5 《選択問題》 選択率 ① 29.6 ② 66.9 ① $78\pi$ (cm <sup>2</sup> ) 43.5 ② $312$ (cm <sup>2</sup> ) 71.2 6 (作図例は右に示す。) 47.3		32							
2	1 (1) -6 65.3 (2) 27 32.2 2 (1) (例) 使用量が 30 m <sup>3</sup> までの 1 m <sup>3</sup> あたりの使用料金を x 円とする。 $30x + (32 - 30)(x + 80) - 28x = 5310 - 4710$ (例) 基本料金を x 円, 使用量が 30 m <sup>3</sup> までの 1 m <sup>3</sup> あたりの使用料金を y 円とする。 $\begin{cases} x + 30y + (32 - 30)(y + 80) = 5310 \\ x + 28y = 4710 \end{cases}$ 32.2 (2) 110 (円) 17.4 3 (1) (樹形図は備考欄に示す。) 88.4 (2) 太郎 (さん) <理由> (例) 2 枚とも飛車が出る確率は, 太郎さんが $\frac{1}{4}$ , 花子さんが $\frac{1}{6}$ であり, 太郎さんのほうが花子さんより大きい。よって, 太郎さんのほうが, 2 枚とも飛車が出やすい。	<table border="1" data-bbox="805 929 1069 1064"> <tr> <td>100%</td> <td>55.3</td> </tr> <tr> <td>50~99%</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>1~49%</td> <td>16.1</td> </tr> </table>	100%	55.3	50~99%	9.3	1~49%	16.1	28	3 (1) 図 3  3 (2) <理由> 受検者の多様な考えを積極的に評価すること。
100%	55.3									
50~99%	9.3									
1~49%	16.1									
3	1 (1) 18 (cm <sup>2</sup> ) 68.5 (2) ア 9 58.5 イ $2x^2$ 39.5 ウ $8x$ 37.3 (グラフは右に示す。) 56.3 2 6 (秒後) 10.3		20							
4	1 <証明> (例) $\triangle ABC$ と $\triangle FBA$ において 共通だから $\angle ABC = \angle FBA$ ..... ① 仮定より $\angle ACB = \angle AED$ ..... ② $AB \parallel DE$ で, 錯角は等しいから $\angle FAB = \angle AED$ ..... ③ ②, ③より $\angle ACB = \angle FAB$ ..... ④ ①, ④より, 2組の角がそれぞれ等しいので $\triangle ABC \sim \triangle FBA$ 2 (1) $\frac{3}{2}$ (cm) 5.1 (2) $\frac{3\sqrt{7}}{2}\pi$ (cm <sup>3</sup> ) 1.9	<table border="1" data-bbox="734 1646 997 1780"> <tr> <td>100%</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>50~99%</td> <td>10.9</td> </tr> <tr> <td>1~49%</td> <td>39.9</td> </tr> </table>	100%	22.8	50~99%	10.9	1~49%	39.9	20	
100%	22.8									
50~99%	10.9									
1~49%	39.9									
		合計 100								

[注意] 1 各小問の配点については, 各学校で適正な基準を設けること。  
 2 この採点基準によって処理しがたい細部については, 各学校の判断によるものとする。



# 理 科

## 1 結果の考察

### (1) 学習の成果がみえる問題

①の問1(1)、④の問1、⑤の問1は、観察・実験の技能を問う問題だが、正答率は8割を超えており、学習の成果がみえる。授業で行う観察・実験について、器具の操作など技能の定着がうかがわれる。特に、⑤の問1の正答率は9割を超えており、実験に対する関心・意欲が高いことがうかがわれる。①の問2、②の問4、④の問3(2)は、観察や実験の結果から導き出した考えを表現する力をみる問題だが、いずれも正答率は約8割であった。基礎的・基本的な知識をもとに、自分の考えや理由を表現する学習活動を大切にしたい。⑧の問2(2)は、実験の結果をもとに水の温度を考える問題だが、正答率は8割を超えていた。実験の結果を分析し解釈する学習活動を通して思考力や表現力を高めたい。また、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動を通して、身の回りにある事物・現象について興味・関心を高められるようにしたい。

### (2) 課題がみえる問題

①の問3d、③の問2、⑧の問4は、学習活動によって得た知識をもとに表現する力をみる問題であるが、正答率が低く課題がみえる。いずれも、学習した用語を使用して考えたことを表現する問題であるが、表現が不正確であったり正答に結び付かなかつたりしたことが考えられる。用語のもつ意味を正しく理解して的確に伝える学習活動を大切にしたい。⑥の問1(1)、(2)も正答率が低かった。化学式は、物質を構成する原子を表しているだけでなく、物質を構成する原子の数の割合を表していることにも留意するなど、科学的な概念を使用して理解を深めるような学習活動へとつなげたい。また、高等学校からは「第1分野の得点率が低い」「化学分野を苦手とする傾向がある」という報告がいくつか寄せられている。第1分野や第2分野に偏ることなく、バランスのよい学習を心掛けたい。

## 2 今後の学習のポイント（授業改善のポイント）

### (1) 科学的な知識や概念を活用したり、実社会や実生活と関連付けたりできる

科学的な見方や考え方を身に付け、自然の事物・現象に対して活用することができる。実生活の現象を科学的にとらえ、自ら考えたことについて身に付けた概念を活用して説明できる。

### (2) 目的意識をもって観察・実験を行い、考察したことを科学的に表現できる

観察や実験を行う目的を自ら考えて計画し、観察や実験の結果がどのようなようになるかを予想した上で、結果について科学的に考察することができる。科学的な概念を使用し、分析して考えたことを自らの言葉で表現することができる。

### (3) 授業者は、生徒が興味・関心を高め、科学的に探究し、解決することができるような学習活動の工夫を

授業者は、生徒の興味・関心を高められるような事物・現象を題材にして、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動を充実させたい。基礎的・基本的な知識・理解をもとに、科学的な見方や考え方を養い表現することができるような学習活動の工夫を図りたい。

問	正 答	配 点	備 考
1	問1 (1) イ 80.1 (2) がく 31.2	25	問2 「合弁花だから。」でもよい。
	問2 (例) 花卉がくっついているから。 87.8		
	問3 c 種子 c 92.9 d (例) 遺伝子の組み合わせがどれも同じ d 20.3		
	問4 《選択問題》		
2	問1 食物網 72.0	25	問3(2) すべてできて正答とする。順序は問わない。 問4 受検者の多様な表現を積極的に評価すること。
	問2 (例) 海水とふれる表面積が大きくなる 58.8		
	問3 (1) ア 58.5 (2) C, D, F 29.6		
	問4 (A) (例) 水生生物をつかまえ、水質を知る手がかりにする。 71.4 (B) (例) 水を浄化する微生物を、よごれた水に入れる。 25.4 選択率 71.4 25.4 正答率 82.9 87.3		
3	問1 13.5 (°C) 54.0	25	
	問2 (例) 上にある空気の層がうすくなるから。 36.7		
	問3 (1) a オ b ア a 74.9 b 72.3 (2) (例) 地表があたためられる 46.6		
4	問1 (例) 円の中心 81.4	25	
	問2 エ 61.4		
	問3 (1) (例) 地軸が傾いている 49.2 (2) エ 82.0		
5	問1 (例) 手であおいでにおいをかぐ。 99.7	25	
	問2 エ 38.9		
	問3 (例) 二酸化炭素がとけて水が酸性になったから。 58.8		
	問4 (1) a CO <sub>2</sub> b H <sub>2</sub> O a 49.8 b 55.6 (2) (例) 都市ガスは空気よりも軽いから。 72.7		
6	問1 (1) 200 (個) 23.5 (2) ウ 11.9	25	
	問2 (例) 炭素に比べてマグネシウムの方が、酸素と化合しやすいから。 39.2		
7	問1 (式) (例) $\frac{90-15}{2.48-1.03}$ (答え) 52 (cm/s) 式 27.3 答え 21.2	25	問2 「抗力」でもよい。 問2(1) 図2
	問2 垂直抗力 67.2		
	問3 ア 50.2		
8	問1 対流 46.9	25	
	問2 (1) (備考欄に示す。) 72.7 (2) イ 87.1		
	問3 a Z b 比例 a 64.6 b 90.4		
	問4 (例) 磁界が変化するとき。 30.5		
		合計 100	

【注意】 1 各小問の配点については、各学校で適正な基準を設けること。  
2 この採点基準によって処理しがたい細部については、各学校の判断によるものとする。

# 英 語

## 1 結果の考察

### (1) 学習の成果がみえる問題

①の2は、対話文を聞いて具体的な内容や大切な部分を聞き取る力をみる問題だが、正答率はア～ウいずれも6割を超えており、学習の成果がみえる。授業での言語活動を通じて、聞き手として必要な情報や話し手が伝えたいことを聞いて理解できるようになっていることがうかがわれる。③の3は、グラフと対話文について、必要な情報を読み取ったり内容をとらえたりする問題である。正答率はイが5割、オが7割を超えており、グラフと照らし合わせながら対話文の大切な部分を的確に読み取ったり話された内容をとらえたりする力が定着していることがうかがわれる。④の2と4は、例年に比べ正答率が高く、学習の成果がみえる。物語の内容について大切な部分をとらえて的確に聞き取る力が定着していることがうかがわれる。

### (2) 課題がみえる問題

②の1と3については、正答率が低く課題がみえる。単に語彙や文法事項などについての知識を身に付けるだけでなく、授業でのコミュニケーション活動などに積極的に取り組み、実際に言語を使用しながら基本的な語彙や文構造を活用する力を身に付けたい。④の6についても正答率が低く、課題がみえる。読む際には一語一語の意味や一文一文の解釈など内容の特定部分にのみとらわれたりすることなく、大まかな流れをつかみながら読み取ることが大切である。また、④の7Ⅱは単に読み取るだけでなく、「読むこと」と「書くこと」を統合的に活用させる問題であるが、正答率が低く課題がみえる。大まかな流れをつかみながら読み取るとともに、「読むこと」を通じて得た知識等について活用し、「書くこと」を通じて発信できるようにしたい。

## 2 今後の学習のポイント（授業改善のポイント）

### (1) 英語を聞いたり読んだりしたことをもとに、自らの考えや気持ちなどを英語で伝えることができる

単に読んだり話したりできるだけでなく、授業での言語活動で「聞くこと」や「読むこと」を通して学んだことについて、自分の考えや気持ちなどと結び付けながら活用し、話したり書いたりして英語で発信することができる。

### (2) 学習した表現を使いながら積極的にコミュニケーションを図ることができる

授業での言語活動において、言語の働きを踏まえて相手の考えを理解したり、学習した表現を使いながら自分の考えを積極的に伝えたりすることができる。

### (3) 授業者は、生徒の実態や「付けたい力」に応じた指導計画の改善と、教科書の題材や内容を活かした4技能を統合的に活用させる言語活動の充実を

学校ごとに作成した「CAN-DOリスト」の活用など、指導と評価を一体化する指導方法の工夫・改善を図りたい。また、既習の内容を言語活動の中で繰り返し学習することで言語材料の定着を図り、実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動において学習内容を活用させるなど、4技能を統合的に活用できる授業づくりをさらに充実させ、4技能の総合的な育成とコミュニケーション能力の基礎の育成を図りたい。

問	正 答	配 点	備 考												
1	1 No.1 ア <b>67.5</b> No.2 ウ <b>39.2</b> 2 ア 500 <b>76.8</b> イ 人気がある <b>84.9</b> ウ 来月の最初 <b>68.8</b> 3 No.1 ウ <b>63.0</b> No.2 エ <b>48.2</b> 4 The mountains seen through the window were (beautiful.) <b>62.1</b>	26													
2	1 (1) nose <b>10.6</b> (2) both <b>37.6</b> (3) century <b>5.8</b> 2 (1) イ <b>71.1</b> (2) エ <b>43.4</b> 3 (1) I haven't met the student who came (from Japan yet.) <b>52.1</b> (2) (How) did you get so many CDs (?) <b>18.0</b>	18													
3	1 健さん Z <b>51.8</b> ジェーンさん Y <b>60.1</b> 2 (例) 中学校を卒業したあと、運動やスポーツを続けたい <b>53.1</b> 3 イ, オ <b>56.9 77.2</b>	16	3 順序は問わない。												
4	1 (d) <b>70.7</b> 2 (例) 遊楽さんの英語での落語がすばらしかったから。 <b>72.0</b> 3 (例) 電車の中で寝ている人が、駅で電車がとまると突然立ち上がり電車を降りること。 <b>31.5</b> 4 (例) 日本の若者が自国の文化に興味を持つこと。 <b>70.4</b> 5 (1) (例) They were wearing their Japanese clothes. <b>43.1</b> (2) (例) No, he couldn't. <b>53.4</b> 6 ウ → イ → エ → オ → ア <b>29.3</b> 7 I (例) Did you enjoy it (, too?) <b>30.9</b> II (例) (The storekeeper wants to say that) he ate the cherries (.) <b>4.5</b>	30													
5	《選択問題》 ① (例) I want to enjoy reading a wonderful story in a book. I can start and stop reading the story when I like. I can also imagine how someone in the book looks or feels. This is useful to understand the story better. ② (例) I like watching a movie of a wonderful story. I can understand the story easily by the sounds and scenes. I can also watch the movie together with friends. It's fun to talk about the story after watching it.	10	受検者の多様な表現を積極的に評価すること。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>選択率</th> <th>正答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A選択</td> <td>45.3</td> <td>88.6</td> </tr> <tr> <td>B選択</td> <td>47.6</td> <td>89.2</td> </tr> <tr> <td>無選択</td> <td>7.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		選択率	正答率	A選択	45.3	88.6	B選択	47.6	89.2	無選択	7.1	
	選択率	正答率													
A選択	45.3	88.6													
B選択	47.6	89.2													
無選択	7.1														
		合計 100													

(注意) 1 各小問の配点については、各学校で適正な基準を設けること。  
 2 この採点基準によって処理しがたい細部については、各学校の判断によるものとする。

# 平成30年度山形県公立高等学校入学者選抜実施状況 (入学定員・入学志願者数・合格者数等)

## 1 年度別比較

年 度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
中学校卒業生数		10,862	10,687	10,621	10,608	10,276	
全 日 制	県 立	入学定員	7,560	7,480	7,360	7,240	7,080
		入学志願者数	7,577	7,212	7,366	7,410	6,876
		倍 率	1.00	0.96	1.00	1.02	0.97
		合格者数	7,017	6,800	6,869	6,712	6,396
		最終倍率	0.99	0.96	0.99	1.01	0.96
		充足率	92.8%	90.9%	93.3%	92.7%	90.3%
	市 立	入学定員	280	280	280	280	280
		入学志願者数	351	346	345	356	340
		倍 率	1.25	1.24	1.23	1.27	1.21
		合格者数	282	281	284	280	282
		最終倍率	1.25	1.24	1.23	1.27	1.21
		充足率	100.7%	100.4%	101.4%	100.0%	100.7%
	合 計	入学定員	7,840	7,760	7,640	7,520	7,360
		入学志願者数	7,928	7,558	7,711	7,766	7,216
		倍 率	1.01	0.97	1.01	1.03	0.98
		合格者数	7,299	7,081	7,153	6,992	6,678
		最終倍率	1.00	0.97	0.99	1.02	0.97
		充足率	93.1%	91.3%	93.6%	93.0%	90.7%
定 時 制	入学定員	280	280	280	280	280	
	入学志願者数	128	127	116	101	127	
	倍 率	0.46	0.45	0.41	0.36	0.45	
	合格者数	116	120	112	98	119	
	最終倍率	0.44	0.45	0.41	0.35	0.44	
	充足率	41.4%	42.9%	40.0%	35.0%	42.5%	
総 計	入学定員	8,120	8,040	7,920	7,800	7,640	
	入学志願者数	8,056	7,685	7,827	7,867	7,343	
	倍 率	0.99	0.96	0.99	1.01	0.96	
	合格者数	7,415	7,201	7,265	7,090	6,797	
	最終倍率	0.98	0.95	0.97	1.00	0.95	
	充足率	91.3%	89.6%	91.7%	90.9%	89.0%	

(注)

- (1) 倍率＝入学志願者数÷入学定員 最終倍率＝受検者数÷入学定員
- (2) 充足率＝合格者数÷入学定員×100
- (3) 中学校卒業生数は、学校基本調査結果報告書の中学校3学年の生徒数による。  
(平成29年度から中学校3年生の生徒数と義務教育学校9年生の合計数とする。)

## 2 課程別・学科別

H30

課程	区分	入学定員		受検者数		合格者数		
	学科	人数	前年度比	人数	最終倍率	人数	充足率	
全 日 制	普通科	3,560	▲320	3,281	0.92	3,292	92.5%	
	専門教育を主とする学科	理数	80	▲40	94	1.18	81	101.3%
		探究	240	240	535	2.23	244	101.7%
		音楽	40	0	43	1.08	41	102.5%
		体育	80	0	95	1.19	81	101.3%
		農業	400	0	315	0.79	311	77.8%
		工業	1,200	0	1,204	1.00	1,134	94.5%
		商業	600	0	620	1.03	565	94.2%
		水産	80	0	37	0.46	37	46.3%
		家庭	80	0	54	0.68	54	67.5%
		看護	40	0	38	0.95	38	95.0%
		情報	40	0	40	1.00	40	100.0%
	総合学科	920	▲40	759	0.83	760	82.6%	
合計	7,360	▲160	7,115	0.97	6,678	90.7%		
定 時 制	普通	200	0	105	0.53	101	50.5%	
	工業	80	0	19	0.24	18	22.5%	
	合計	280	0	124	0.44	119	42.5%	
全定合計		7,640	▲160	7,239	0.95	6,797	89.0%	

(注)

(1) 充足率＝合格者数÷入学定員×100

(2) 入学定員の増減は、普通科(山形東-2、米沢興譲館-1、酒田東-2、南陽-1、鶴岡北-1、酒田西-1)、理数科(米沢興譲館-1)、探究科(山形東+2、米沢興譲館+2、酒田東+2)、総合学科(北村山-1)の各校クラス数増減によるものである。

### 3 推薦入学者選抜実施状況（平成30年度）

区 分	課程 学科	全 日 制												
		普通	専 門 教 育 を 主 と す る 学 科											総合学科
			理数	探究	音楽	体育	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	
入学定員		3,560	80	240	40	80	400	1,200	600	80	80	40	40	920
募集人員		—	8	—	20	56	96	298	122	24	24	12	10	170
志願者数		—	16	—	41	95	76	434	190	14	20	23	14	157
内定者数		—	8	—	20	61	72	300	125	14	20	12	12	136
志願倍率		—	2.00	—	2.05	1.70	0.79	1.46	1.56	0.58	0.83	1.92	1.40	0.92
充足率		—	100.0%	—	100.0%	108.9%	75.0%	100.7%	102.5%	58.3%	83.3%	100.0%	120.0%	80.0%

区 分	全 日 制 計
入学定員	7,360
募集人員	840
志願者数	1,080
内定者数	780
志願倍率	1.29
充足率	92.9%

区 分	課程 学科	定 時 制		
		普通	工業	計
入学定員		200	80	280
募集人員		—	—	—
志願者数		—	—	—
内定者数		—	—	—
志願倍率		—	—	—
充足率		—	—	—

区 分	全 日 制 ・ 定 時 制 総 計
入学定員	7,640
募集人員	約 840
志願者数	1,080
内定者数	780
志願倍率	1.29
充足率	92.9%

<注>

- (1) 志願倍率＝志願者数÷募集人員
- (2) 充足率＝合格内定者数÷募集人員×100
- (3) 推薦選抜で志願者があった学校  
全 日 制：26校（前年26校）  
66学科（前年66学科）
- (4) 募集人員（実施要項より）  
理 数 科：20%程度  
音 楽 科：50%程度  
体 育 科：70%程度  
職業に関する学科：30%以内  
総合学科：30%以内

※募集人員の計は各校で定めた人員を単純に合計したもの